



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月2日

上場会社名 三井倉庫ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 9302

URL <https://www.mitsui-soko.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古賀 博文

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理担当 (氏名) 松井 博文 TEL 03-6400-8006

四半期報告書提出予定日 2022年8月3日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2023年3月期第1四半期	78,584	15.0	6,783	21.9	7,132	26.9	4,774	47.5
2022年3月期第1四半期	68,327	20.9	5,565	73.5	5,621	68.3	3,237	59.1

（注）包括利益 2023年3月期第1四半期 8,311百万円（116.1％） 2022年3月期第1四半期 3,846百万円（△4.9％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	192.25	—
2022年3月期第1四半期	130.34	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2023年3月期第1四半期	269,225	92,758	31.3
2022年3月期	258,297	88,631	30.8

（参考）自己資本 2023年3月期第1四半期 84,192百万円 2022年3月期 79,458百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	35.00	—	94.00	129.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	72.00	—	92.00	164.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有  
配当予想の修正については、本日（2022年8月2日）公表いたしました「2023年3月期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」及び添付資料4ページ「1.（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	157,000	12.1	12,500	7.4	12,500	6.6	8,000	18.8	321.86
通期	300,000	△0.3	22,500	△13.3	22,000	△13.9	13,500	△6.9	542.92

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
 新規 ー社 (社名) 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	24,883,002株	2022年3月期	24,883,002株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	46,684株	2022年3月期	46,684株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	24,836,318株	2022年3月期1Q	24,836,341株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本発表資料の中で、予想、見通し、目標といった歴史的事実でない数値につきましては、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因を前提に算出したものであり、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、（添付資料）4ページ「1.（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
3. 補足情報 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における世界経済は、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制、インフレ圧力の強まりや素原材料・部品の調達制約が企業活動や消費の重しとなっており、予断を許さない状況が続いております。

物流を取り巻く環境についても、中国でのロックダウンの影響による部品調達難などを背景に、自動車関連の輸出は低調に推移し、また荷動きを示す貨物回転率も前年同期比で微減となっております。また、海上コンテナ不足等の海運市況の混乱が継続していることに加え、燃料費の高騰や労働力不足によるコスト上昇圧力もあり、先行き不透明な状況が続いております。

こうした経済環境の中、当社グループは新たな5カ年計画『中期経営計画2022』（2023年3月期～2027年3月期）のもと、さらなる成長を目指してグループ総合力結集によるトップライン成長と、オペレーションの競争力強化、積極投資による経営基盤強化に取り組んでおります。

営業の状況といたしましては、輸出入の回復に伴い需要が増加する中で急速に変化する顧客の輸送ニーズを的確に捉えて機動的に輸送スペースを確保し、フォワーディング業務の取扱量が増加いたしました。加えて、海上コンテナ不足等の海運市況の混乱に起因する海上輸送から航空輸送へのシフトによる取扱増加が継続していること、前期立ち上げの新設物流施設の通期寄与がありました。これらの結果、連結営業収益は前年同期比102億57百万円増の785億84百万円、連結営業利益は同12億17百万円増の67億83百万円、連結経常利益は同15億11百万円増の71億32百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同15億37百万円増の47億74百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (イ) 物流事業

中国でのロックダウンの影響により家電関連の物流の一部において取扱が減少したものの、輸出入の回復に伴い需要が増加する中で急速に変化する顧客の輸送ニーズを的確に捉えて機動的に輸送スペースを確保し、フォワーディング業務の取扱量が増加いたしました。加えて、海上コンテナ不足等の海運市況の混乱に起因する海上輸送から航空輸送へのシフトによる取扱増加が継続していること、前期立ち上げのヘルスケア物流専用の新設倉庫や、同じく前期立ち上げのBtoBtoC向けの新設物流センターの通期寄与もあり、営業収益は前年同期比102億51百万円増の766億6百万円となり、営業利益は同11億74百万円増の62億86百万円となりました。

#### (ロ) 不動産事業

営業収益は前年同期比26百万円増の21億72百万円、営業利益は同47百万円増の12億72百万円といずれもほぼ横ばいとなりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①財政状態の変動状況

当第1四半期の総資産は現預金の増加や、物流センターにおけるマテハン機器のリース資産の取得などにより、前連結会計年度末より109億27百万円増の、2,692億25百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や、円安に伴う為替換算調整勘定の増加などにより、前連結会計年度末より41億27百万円増の、927億58百万円となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の増加により、前年同期比57億45百万円増加の79億72百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、当期は物流センターにおけるマテハン機器への投資を行っているもののリースにより行っていることから、ヘルスケア物流専用の新設倉庫の建設代金の支払いがあった前期と比較すると、前年同期比23億73百万円支出減少の12億91百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増加などにより4億31百万円の収入となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は、前連結会計年度末より77億69百万円増の305億91百万円となりました。

## ③キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年 3月期	2021年6月 第1四半期	2022年 3月期	2022年6月 第1四半期
自己資本比率 (%)	26.3	26.4	30.8	31.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	22.6	25.4	24.1	26.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	5.2	13.1	4.3	3.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ	21.2	17.0	27.1	52.3

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
3. キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息支払額を使用しております。
4. キャッシュ・フロー対有利子負債比率は、キャッシュ・フローを年額に換算するため第1四半期では4倍して算出しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

## ア. 2023年3月期の業績予想の修正について

当期末に向けて徐々に収束していく前提で見込んでおりました海上コンテナ不足等の海運市況の混乱に伴う海上輸送から航空輸送へのシフトや、航空運賃高騰による影響（以下、「特殊要因」）は、サプライチェーンの正常化の動き等を織り込み、当初想定を下回って推移すると見込んでおります。一方、輸出入の回復による貨物需要が想定を上回る中、急速に変化する顧客の輸送ニーズを的確に捉えて機動的に輸送スペースを確保することでフォローディング業務の取扱量が増加していること、及び為替レートが当初想定よりも円安方向に推移していること等から、第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想を修正いたしました。

## 〔2023年3月期 第2四半期累計期間（2022年4月1日～2022年9月30日）連結業績予想〕

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
①前回発表予想	147,000	11,000	10,800	6,300	253.66
②今回修正予想	157,000	12,500	12,500	8,000	321.86
③増減額 ②－①	10,000	1,500	1,700	1,700	—
④増減率 ③／①	6.8%	13.6%	15.7%	27.0%	—
参考：前年同期実績 (2022年3月期第2四半期)	140,044	11,636	11,723	6,734	271.17

## 〔2023年3月期 通期（2022年4月1日～2023年3月31日）連結業績予想〕

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
①前回発表予想	290,000	21,000	20,300	11,800	475.11
②今回修正予想	300,000	22,500	22,000	13,500	542.92
③増減額 ②－①	10,000	1,500	1,700	1,700	—
④増減率 ③／①	3.4%	7.1%	8.4%	14.4%	—
参考：前年同期実績 (2022年3月期通期)	301,022	25,939	25,553	14,503	583.98

## 連結営業利益における通期業績予想値と本修正における差異の概要（単位：億円）

	実力値	特殊要因	合計
2022年5月10日公表 通期業績予想値	180	30	210
輸出入回復に伴う取扱貨物の増加等 為替影響	+10	-	+10
その他（システム費用、修繕費減）	+3	-	+3
特殊要因（船落ちによる航空輸送へのシフト、航空運賃高騰）	-	▲1	▲1
上期増減合計	+16	▲1	+15
輸出入回復に伴う取扱貨物の増加等 為替影響	+3	-	+3
その他（システム費用、修繕費減）	+4	-	+4
特殊要因（船落ちによる航空輸送へのシフト、航空運賃高騰）	-	▲7	▲7
下期増減合計	+7	▲7	-
本修正における通期業績予想値	203	22	225
参考：前年同期実績	170	89	259

## イ. 2023年3月期の配当予想の修正について

当社グループは、「中期経営計画2022」（2023年3月期～2027年3月期）において、連結配当性向30%を基準とする業績に連動した機動的な配当を実施する方針としております。

今回、上記ア. のとおり2023年3月期の業績予想を修正したことに伴い、配当方針に沿って通期の連結配当性向が30%程度となるよう1株当たり配当金の配当予想を修正するものであります。

[2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）配当予想額]

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想 (2022年5月10日発表)	円 銭 72.00	円 銭 72.00	円 銭 144.00
今回修正予想	72.00	92.00	164.00
前期実績（2022年3月期）	35.00	94.00	129.00

（注）上記に記載した予想数値は、当社が現在入手している情報に基づくものであり、実際の業績は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,109	30,875
受取手形、営業未収金及び契約資産	41,155	41,497
棚卸資産	2,045	2,094
その他	11,112	12,640
貸倒引当金	△67	△67
流動資産合計	77,354	87,040
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	73,609	73,736
土地	56,496	56,800
その他(純額)	9,387	11,121
有形固定資産合計	139,493	141,658
無形固定資産		
のれん	1,917	1,812
その他	6,783	7,101
無形固定資産合計	8,700	8,914
投資その他の資産		
投資有価証券	9,883	10,041
その他	23,468	22,166
貸倒引当金	△603	△595
投資その他の資産合計	32,748	31,612
固定資産合計	180,942	182,185
資産合計	258,297	269,225



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	22,604	20,571
短期借入金	2,049	9,047
1年内返済予定の長期借入金	9,630	8,944
未払法人税等	4,631	1,911
賞与引当金	3,863	2,430
その他	22,663	28,394
流動負債合計	65,441	71,300
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	57,317	55,950
退職給付に係る負債	6,562	6,540
その他	15,343	17,674
固定負債合計	104,224	105,166
負債合計	169,666	176,466
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,100	11,100
資本剰余金	5,548	5,548
利益剰余金	52,752	55,192
自己株式	△103	△103
株主資本合計	69,298	71,738
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,568	3,593
繰延ヘッジ損益	2	2
為替換算調整勘定	4,665	7,331
退職給付に係る調整累計額	1,924	1,525
その他の包括利益累計額合計	10,159	12,453
非支配株主持分	9,172	8,566
純資産合計	88,631	92,758
負債純資産合計	258,297	269,225

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
<b>営業収益</b>		
倉庫保管料	8,727	9,133
倉庫荷役料	7,819	8,313
港湾作業料	4,326	4,388
運送収入	35,323	42,997
不動産収入	1,971	1,977
その他	10,158	11,772
営業収益合計	68,327	78,584
<b>営業原価</b>		
作業直接費	34,646	40,926
賃借料	4,640	4,994
減価償却費	1,749	1,945
給料及び手当	9,082	9,365
その他	8,335	9,994
営業原価合計	58,454	67,227
営業総利益	9,873	11,357
<b>販売費及び一般管理費</b>		
減価償却費	309	347
報酬及び給料手当	2,072	2,056
のれん償却額	178	172
その他	1,747	1,997
販売費及び一般管理費合計	4,308	4,574
営業利益	5,565	6,783
<b>営業外収益</b>		
受取利息	35	54
受取配当金	169	192
為替差益	—	116
持分法による投資利益	53	146
その他	162	156
営業外収益合計	421	666
<b>営業外費用</b>		
支払利息	210	221
為替差損	26	—
その他	127	95
営業外費用合計	364	316
経常利益	5,621	7,132
<b>特別利益</b>		
退職給付信託返還益	—	496
特別利益合計	—	496
税金等調整前四半期純利益	5,621	7,628
法人税等	1,792	2,072
四半期純利益	3,828	5,556
非支配株主に帰属する四半期純利益	591	781
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,237	4,774

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	3,828	5,556
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△163	25
繰延ヘッジ損益	△1	0
為替換算調整勘定	78	2,816
退職給付に係る調整額	38	△397
持分法適用会社に対する持分相当額	65	310
その他の包括利益合計	17	2,754
四半期包括利益	3,846	8,311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,287	7,068
非支配株主に係る四半期包括利益	558	1,242

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,621	7,628
減価償却費	2,058	2,293
のれん償却額	178	172
退職給付信託返還益	—	△496
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7	△17
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,235	△1,462
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△75	△45
受取利息及び受取配当金	△205	△246
支払利息	210	221
持分法による投資損益 (△は益)	△53	△146
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2	△10
固定資産除却損	18	15
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△1,031	848
仕入債務の増減額 (△は減少)	△116	△2,613
その他	2,664	6,601
小計	8,039	12,743
利息及び配当金の受取額	205	246
利息の支払額	△130	△152
法人税等の支払額	△5,886	△4,865
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,226	7,972
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,241	△763
有形固定資産の売却による収入	14	19
無形固定資産の取得による支出	△437	△544
無形固定資産の売却による収入	0	0
投資有価証券の取得による支出	△4	△3
貸付けによる支出	△3	△5
貸付金の回収による収入	5	5
定期預金の預入による支出	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,665	△1,291
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	34,000	33,530
短期借入金の返済による支出	△27,000	△26,659
長期借入れによる収入	3,000	1
長期借入金の返済による支出	△3,095	△2,148
配当金の支払額	△745	△2,334
その他	△686	△1,958
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,473	431
現金及び現金同等物に係る換算差額	227	657
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,261	7,769
現金及び現金同等物の期首残高	22,718	22,822
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,979	30,591

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	物流事業	不動産事業			
営業収益					
(1) 外部顧客への 営業収益	66,355	1,971	68,327	—	68,327
(2) セグメント間の 内部収益又は振替高	—	174	174	(174)	—
計	66,355	2,146	68,501	(174)	68,327
セグメント営業利益	5,112	1,224	6,337	(771)	5,565

(注) 1. セグメント利益の調整額△771百万円は、連結財務諸表提出会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント営業利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	物流事業	不動産事業			
営業収益					
(1) 外部顧客への 営業収益	76,606	1,977	78,584	—	78,584
(2) セグメント間の 内部収益又は振替高	—	194	194	(194)	—
計	76,606	2,172	78,779	(194)	78,584
セグメント営業利益	6,286	1,272	7,558	(775)	6,783

(注) 1. セグメント利益の調整額△775百万円は、連結財務諸表提出会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント営業利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

2023年3月期 第1四半期決算参考資料

## 1. 経営成績の概要 (連結)

(単位: 百万円)

	第1四半期 (4月1日～6月30日)				通期 (4月1日～3月31日)			
	2022年 3月期	2023年 3月期	増減		2022年 3月期 実績	2023年 3月期 予想	増減	
			金額	率 (%)			金額	率 (%)
営業収益	68,327	78,584	10,257	15.0	301,022	300,000	△1,022	△0.3
営業利益	5,565	6,783	1,217	21.9	25,939	22,500	△3,439	△13.3
経常利益	5,621	7,132	1,511	26.9	25,553	22,000	△3,553	△13.9
親会社株主に 帰属する当期純利益	3,237	4,774	1,537	47.5	14,503	13,500	△1,003	△6.9

## 2. 財政状態 (連結)

(単位: 百万円)

	2022年 3月末	2022年 6月末	増減	
			金額ほか	率 (%)
自己資本	79,458	84,192	4,733	6.0
総資産	258,297	269,225	10,927	4.2
自己資本比率	30.8%	31.3%	+0.5ポイント	1.7
D/E レシオ	1.25	1.27	0.02	1.3

## 3. 減価償却の状況 (連結)

(単位: 百万円)

	前年同期	当第1四半期	増減	2022年3月期
減価償却費	2,058	2,293	235	8,721

## 4. 有利子負債残高 (連結)

(単位: 百万円)

	2022年3月末	2022年6月末	増減
社債	25,000	25,000	—
借入金	68,996	73,942	4,945
リース債務	5,397	7,720	2,322
合計	99,394	106,663	7,268

## 5. セグメント情報 (連結)

&lt;営業収益&gt;

(単位: 百万円)

	前年同期 実績	当第1四半期 累計期間実績	2023年3月期 予想	2022年3月期 実績
物流事業	66,355	76,606	291,100	292,213
不動産事業	2,146	2,172	9,500	9,574
合計	68,501	78,779	300,600	301,788
調整額	△174	△194	△600	△765
連結損益計算書計上額	68,327	78,584	300,000	301,022

&lt;営業利益&gt;

(単位: 百万円)

	前年同期 実績	当第1四半期 累計期間実績	2023年3月期 予想	2022年3月期 実績
物流事業	5,112	6,286	20,900	23,734
不動産事業	1,224	1,272	5,700	5,798
合計	6,337	7,558	26,600	29,532
調整額	△771	△775	△4,100	△3,593
連結損益計算書計上額	5,565	6,783	22,500	25,939